



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月31日

上場会社名 大正製薬ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4581 URL <http://www.taisho-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 上原 明
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 坪井 正樹 (TEL) 03-3985-2020
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	220,269	4.3	30,795	△11.9	37,928	△7.7	21,848	4.0
24年3月期第3四半期	211,198	—	34,939	—	41,103	—	21,014	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 26,777百万円 (44.3%) 24年3月期第3四半期 18,555百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第3四半期	270	20	270	17
24年3月期第3四半期	254	20	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	655,467	561,074	83.8
24年3月期	629,506	538,666	83.8

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 548,974百万円 24年3月期 527,376百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	—	—	—	—	—	50	00	50	00
25年3月期	—	—	60	00	—	—				
25年3月期(予想)							60	00	120	00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 当社は、平成23年10月3日に単独株式移転により設立されたため、前年第2四半期までの実績はありません。

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	285,500	5.3	35,500	△7.6	43,800	△5.2	26,500	8.8	327	49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	90,139,653株	24年3月期	90,139,653株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	9,041,648株	24年3月期	9,755,007株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	80,860,937株	24年3月期3Q	82,668,765株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(その他特記事項)

1. 前第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）の四半期連結財務諸表は、単独株式移転により完全子会社となった大正製薬株式会社の子会社の四半期連結財務諸表を引継いで作成しております。
2. 当社は、平成23年10月3日に単独株式移転により設立されたため、（1）連結経営成績（累計）の24年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率はありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

セルフメディケーション事業分野の中心であるOTC医薬品市場は、皮膚用薬、解熱鎮痛剤など一部堅調なカテゴリーがあったものの、ドリンク剤、総合感冒薬、ミニドリンク剤、外用鎮痛・消炎剤等主力カテゴリーが不振で、総体的には低調でした。

医薬事業分野につきましても、新薬の創出が困難になりつつあるなか、世界的な承認審査の厳格化や医療費適正化諸施策の浸透などにより、厳しい事業環境が続いております。

こうした事業環境の中で、当社グループのセルフメディケーション事業部門は、情報提供や店頭販促などを強化するとともに、生活習慣病のような成長領域に積極的に取り組むことで、国内OTC医薬品市場の活性化に努めております。また、海外市場においては、アジア地域を中心にドリンク剤事業に加えてOTC医薬品事業を積極的に展開し、事業基盤の強化に取り組んでおります。

医薬事業部門では、情報提供活動を中心とする営業力の強化を図るとともに、自社オリジナル開発物質の継続的な創出と開発のスピードアップに努めております。

このような事業活動により、当第3四半期連結累計期間のグループ全体売上高は、2,202億6千9百万円余（前年同四半期比+90億7千1百万円余、4.3%増—以下括弧内文言「前年同四半期比」省略）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間に新規連結対象となりました株式会社トクホンと、メキシコのCICSA社等4社の売上高寄与は、それぞれ25億円、4億円でした。

セグメント別の売上高は次の通りであります。

セルフメディケーション事業	1,330億円	(+ 28億円)	2.2%増)
内訳			
国内	1,184億円	(+ 1億円)	0.1%増)
海外	125 "	(+ 25 "	24.5%増)
その他	20 "	(+ 2 "	13.1%増)
<hr/>			
医薬事業	873億円	(+ 62億円)	7.7%増)
内訳			
医療用医薬品	812億円	(+ 65億円)	8.7%増)
中間製品等	59 "	(△ 3 "	4.3%減)
工業所有権等使用料収益	2 "	(+ 0 "	7.5%増)
<hr/>			

両事業部門主要製品の売り上げ状況は次の通りであります。

<セルフメディケーション事業>

当第3四半期連結累計期間売上高は、1,330億円(+28億円、2.2%増)となりました。

ドリンク剤の「リポビタミンシリーズ」は、女性をターゲットとした低カロリーの「リポビタミンファイン」などが伸長したものの、主力の「リポビタミンD」が前年を下回り(5.8%減)、シリーズ全体では、544億円(4.0%減)となりました。

風邪薬「パブロンシリーズ」は、前年度の花粉飛散量増加の反動から、鼻炎関連商品が前年比マイナスとなりましたが、主力の総合感冒薬が堅調に推移し、シリーズ全体では192億円(2.0%増)となりました。

発毛剤「リアップシリーズ」は、平成23年11月発売の女性用「リアップリジェンヌ」、平成24年12月発売の爽快系発毛剤「リアップジェット」が寄与したものの、「リアップ」が対前年比でマイナスとなるなど、シリーズ全体で109億円(2.0%減)となりました。

その他のブランドでは、「ナロンシリーズ」は32億円(0.7%減)、「コーラックシリーズ」は28億円(4.7%減)、ミニドリンク剤の「ゼナシリーズ」は24億円(1.3%減)と前年を下回りましたが、「胃腸薬シリーズ」は平成24年2月発売の「大正漢方胃腸薬「爽和」」の寄与もあり34億円(2.0%増)、「リビタシリーズ」は平成24年7月発売の新製品「ファットケア」「ミドルケア」が売上寄与し、36億円(24.3%増)と前年を上回りました。

一方、現在注力中の海外OTC医薬品事業では、タイ、インドネシア市場を中心に堅調に売り上げを伸ばしたほか、平成23年8月に買収したマレーシアのホウ製薬、平成24年7月に買収したCICSA社等4社の寄与もあり、66億円(39.3%増)となりました。

<医薬事業>

当第3四半期連結累計期間売上高は、873億円(+62億円、7.7%増)となりました。

4月に実施された薬価改定等の影響もあり、主力品のマクロライド系抗菌薬「クラリス」は139億円(13.0%減)、末梢循環改善薬「パルクス」は67億円(10.0%減)、キノロン系抗菌薬「ジェニナック」は47億円(2.4%減)と前年比マイナスとなりましたが、β-ラクタマーゼ阻害剤配合ペニシリン系抗菌薬「ゾシン」は166億円(21.6%増)、ニューキノロン系抗菌薬「オゼックス」は66億円(47.1%増)と好調に推移しました。また、平成23年4月に発売した骨粗鬆症治療剤「エディロール」も61億円(433.0%増)と順調に伸長しました。

その他の製品では、非ステロイド性消炎鎮痛剤「ロルカム」は24億円(8.7%減)、注射用ペニシリン系抗菌薬「ペントシリン」は19億円(23.7%減)、セフェム系抗菌薬「トミロン」は15億円(8.2%減)と前年比マイナスとなりました。

また、中間製品等の売上高は59億円(4.3%減)となりました。

コスト面につきましては、販売促進費等の増加により販売費及び一般管理費が前年よりも増加し、営業利益は307億9千5百万円余(11.9%減)、経常利益は379億2千8百万円余(7.7%減)となりました。

一方、投資有価証券評価損が前年よりも減少したことや、国内法人税率引き下げの影響などにより、四半期純利益は218億4千8百万円余(4.0%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ260億円増加し、6,555億円となりました。主な増加要因は受取手形及び売掛金の増加145億円、有形固定資産の増加56億円、投資有価証券の増加48億円です。

負債は、前連結会計年度末に比べ36億円増加し、944億円となりました。主な増加要因は支払手形及び買掛金の増加26億円、繰延税金負債の増加33億円であり、主な減少要因は未払法人税等の減少26億円、賞与引当金の減少29億円です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ224億円増加し、5,611億円となりました。主な増加要因は四半期純利益218億円、純資産控除項目である自己株式の減少45億円、その他有価証券評価差額金の増加33億円であり、主な減少要因は配当金の支払による剰余金の減少89億円です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期の業績の動向等をふまえ、平成24年10月31日に公表しました通期連結業績予想を以下の通り修正致します。

ー売上高

連結売上高予想を従来予想から15億円引き下げ、2,855億円に修正致します。セルフメディケーション事業では、ドリンク剤市場の動向や「リポビタンシリーズ」等の売り上げ状況などをふまえ、予想を下方に修正、医薬事業では「ゾシン」「オゼックス」「エディロール」等の売り上げが堅調に推移していることなどから予想を上方に修正致します。

ー利益面

営業利益の予想を355億円（従来予想比10億円減）、経常利益の予想を438億円（従来予想比7億円減）に修正致します。売上構成比の変化等による売上原価の増加、販売費及び一般管理費、持分法投資損益の見直しを予想に織り込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	94,672	98,677
受取手形及び売掛金	78,662	93,192
有価証券	19,055	14,856
商品及び製品	13,247	14,989
仕掛品	2,695	2,279
原材料及び貯蔵品	8,855	8,902
繰延税金資産	8,567	6,911
その他	9,195	5,222
貸倒引当金	△169	△474
流動資産合計	234,782	244,556
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	42,806	46,710
機械装置及び運搬具（純額）	6,539	6,359
土地	35,346	37,773
建設仮勘定	5,103	3,940
その他（純額）	3,041	3,688
有形固定資産合計	92,837	98,472
無形固定資産		
のれん	17,731	20,868
販売権	8,883	8,494
商標権	9,230	11,338
ソフトウェア	2,580	2,262
その他	442	418
無形固定資産合計	38,868	43,382
投資その他の資産		
投資有価証券	198,137	202,911
関係会社株式	47,145	48,483
長期前払費用	993	1,018
繰延税金資産	9,163	8,254
その他	7,707	8,516
貸倒引当金	△128	△127
投資その他の資産合計	263,018	269,056
固定資産合計	394,724	410,911
資産合計	629,506	655,467

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,986	31,612
未払金	12,286	13,262
未払法人税等	5,726	3,128
未払費用	8,837	9,363
返品調整引当金	471	571
賞与引当金	4,630	1,715
その他	2,367	2,524
流動負債合計	63,306	62,179
固定負債		
退職給付引当金	17,589	18,173
役員退職慰労引当金	1,536	1,657
繰延税金負債	4,455	7,736
その他	3,951	4,645
固定負債合計	27,532	32,213
負債合計	90,839	94,392
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	15,000	15,270
利益剰余金	550,605	563,561
自己株式	△61,896	△57,375
株主資本合計	533,708	551,456
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,748	8,035
為替換算調整勘定	△11,080	△10,516
その他の包括利益累計額合計	△6,331	△2,481
新株予約権	—	91
少数株主持分	11,289	12,008
純資産合計	538,666	561,074
負債純資産合計	629,506	655,467

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	211,198	220,269
売上原価	76,455	83,354
売上総利益	134,743	136,915
返品調整引当金戻入額	475	460
返品調整引当金繰入額	511	557
差引売上総利益	134,707	136,818
販売費及び一般管理費	99,767	106,022
営業利益	34,939	30,795
営業外収益		
受取利息	3,799	4,003
受取配当金	1,075	1,073
持分法による投資利益	996	1,448
その他	498	737
営業外収益合計	6,370	7,261
営業外費用		
支払利息	8	15
支払手数料	115	84
その他	82	29
営業外費用合計	206	129
経常利益	41,103	37,928
特別利益		
固定資産売却益	180	364
災害損失引当金戻入額	437	—
ゴルフ会員権売却益	1	—
特別利益合計	618	364
特別損失		
投資有価証券評価損	3,668	2,199
固定資産処分損	135	153
特別退職金	—	66
ゴルフ会員権売却損	10	—
特別損失合計	3,814	2,419
税金等調整前四半期純利益	37,907	35,872
法人税等	16,248	12,953
少数株主損益調整前四半期純利益	21,659	22,919
少数株主利益	644	1,070
四半期純利益	21,014	21,848

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	21,659	22,919
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,457	3,289
為替換算調整勘定	△1,483	561
持分法適用会社に対する持分相当額	△162	6
その他の包括利益合計	△3,103	3,857
四半期包括利益	18,555	26,777
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,957	25,698
少数株主に係る四半期包括利益	598	1,078

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディ ケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	130,121	81,077	211,198	—	211,198
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	130,121	81,077	211,198	—	211,198
セグメント利益(注2)	30,640	4,765	35,405	△466	34,939

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに所属しない当社(純粋持株会社)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「セルフメディケーション事業」セグメントにおいて、ホウ製薬ホールディングス株式会社の株式を取得し、第2四半期連結会計期間より、連結範囲に含めております。これに伴うのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において8,913百万円であります。なお、取得した資産及び引き受けた負債のうち、企業結合日における識別可能な資産及び負債の特定が未了であるため、取得原価の配分は完了していません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディ ケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	132,961	87,308	220,269	—	220,269
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	132,961	87,308	220,269	—	220,269
セグメント利益(注2)	28,795	2,898	31,694	△898	30,795

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粹持株会社)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益はありません。